



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 住友ゴム工業株式会社

コード番号 5110 URL <http://www.srigroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 育嗣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 河野 隆志

TEL 078-265-3000

四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	190,710	16.4	18,478	23.5	17,882	24.4	10,877	21.0
25年12月期第1四半期	163,861	△1.8	14,964	△6.5	14,369	△15.4	8,993	△11.0

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 4,853百万円 (△84.8%) 25年12月期第1四半期 31,832百万円 (29.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	41.47	—
25年12月期第1四半期	34.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	841,421	355,461	38.9	1,248.68
25年12月期	867,464	358,844	38.0	1,257.26

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 327,563百万円 25年12月期 329,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	15.00	—	25.00	40.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	380,000	9.9	35,000	17.7	32,500	17.3	18,500	19.5	70.52
通期	840,000	7.6	83,000	7.7	78,000	4.6	47,000	4.9	179.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）
Sumitomo Rubber AKO Lastik Sanayi ve Ticaret A.S.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年12月期1Q	263,043,057 株	25年12月期	263,043,057 株
26年12月期1Q	716,570 株	25年12月期	715,318 株
26年12月期1Q	262,327,076 株	25年12月期1Q	262,332,574 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業をとりまく様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。
なお、上記予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
当社の連結財務諸表に記載される科目及びその他の事項の金額は、従来、表示単位未満を切り捨てて記載しておりましたが、当連結会計年度より表示単位未満を四捨五入して記載しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても四捨五入に組み替えて表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%
売上高	190,710	163,861	16.4
タイヤ事業	165,873	142,110	16.7
スポーツ事業	15,617	14,062	11.1
産業品他事業	9,220	7,689	19.9
営業利益	18,478	14,964	23.5
タイヤ事業	16,519	13,763	20.0
スポーツ事業	618	620	△0.4
産業品他事業	1,337	580	130.6
調整額	4	1	—
経常利益	17,882	14,369	24.4
四半期純利益	10,877	8,993	21.0

為替レート的前提

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減
1米ドル当たり	103円	92円	11円
1ユーロ当たり	141円	122円	19円

当第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年3月31日）の世界経済は、米国では緩やかな景気回復が持続しており、欧州でも引き続き景気持ち直しの動きが見られるようになりました。新興諸国においては中国やインドなどの一部地域で弱さが見られるものの、総じて安定的な経済成長が続いており、世界経済全体としては、緩やかな景気回復基調で推移しました。

わが国経済につきましても、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要などによる個人消費の増加に加えて、設備投資の持ち直しや企業業績の改善が見られるなど、緩やかな景気回復が継続しました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、天然ゴム相場が引き続き低位で安定的に推移したことに加えて、為替の円安による輸出環境の改善がありましたが、新興諸国を中心に海外市販市場における競合他社との競争が激化するなど、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、2020年を目標年度とする長期ビジョン「VISION 2020」の実現を目指し、事業の成長と収益力の向上に向けて様々な対策に取り組みました。

この結果、当社グループの連結売上高は190,710百万円（前年同期比16.4%増）、連結営業利益は18,478百万円（前年同期比23.5%増）、連結経常利益は17,882百万円（前年同期比24.4%増）、連結四半期純利益は10,877百万円（前年同期比21.0%増）と、増収増益を達成しました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(タイヤ事業)

タイヤ事業の売上高は、165,873百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益は16,519百万円（前年同期比20.0%増）となりました。

国内市販用タイヤは、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が発生するなか、その旺盛な需要を取り込むと共に、ダンロップブランドで低燃費性能に「長持ち」という新たな価値を加えた、第2世代のスタンダード低燃費タイヤ「エナセーブ EC203」を発売するなど、拡販と販売構成の改善に努めたことにより、売上高は前年同期を上回りました。

国内新車用タイヤは、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要による自動車生産台数の増加や、低燃費タイヤを中心とする高付加価値タイヤの拡販により販売数量が増加したため、売上高は前年同期を上回りました。

海外市販用タイヤは、緩やかな景気回復基調の下、販売数量が増加したことに加えて為替が円安で推移したため、売上高は前年同期を上回りました。

海外新車用タイヤは、生産拠点を有するタイでは景気の悪化により販売数量が減少しましたが、拡大を続ける中国市場においては大幅に販売を伸ばしたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、タイヤ事業の売上高は前年同期を上回りました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業の売上高は、15,617百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は618百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

国内市場は、降雪等の影響で2月の市況が若干悪化したものの、ゴルフクラブの新商品投入効果や消費税率引き上げに伴う駆け込み需要などにより、前年同期を上回る状況で推移しました。海外市場は、悪天候などの理由で米国市場が前年同期を下回ったほか、中国経済成長の鈍化で東南アジア周辺地域や韓国の市況にも停滞感が広がり、前年同期を下回りました。

このようななか、国内市場においては、昨年12月に発売しましたゴルフクラブの主力商品「ゼクシオ エイト」が順調に販売を伸ばし、昨年に業務提携契約を結んだ株式会社アシックス製のゴルフシューズ販売が好調なスタートを切ったため、国内販売全体としては好調に推移しました。

海外市場においては、北米では降雪や寒波による市況の悪化で減収となった一方、アジアでは「ゼクシオ エイト」が順調に販売を伸ばしました。

以上の結果、スポーツ事業の売上高は前年同期を上回りました。

(産業品他事業)

産業品他事業の売上高は、9,220百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は1,337百万円（前年同期比130.6%増）となりました。

住宅用制震ユニット「MIRAI E[ミライエ]」を拡販したことに加えて、プリンター・コピー機用精密ゴム部品や体育施設向け砂入り人工芝「ハイブリッドターフ」などの商品も販売を伸ばしました。

以上の結果、産業品他事業の売上高は前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

	当第1四半期 連結会計期間	前連結会計年度	増減
	百万円	百万円	百万円
総資産	841,421	867,464	△26,043
純資産	355,461	358,844	△3,383
（うち自己資本）	(327,563)	(329,813)	(△2,250)
自己資本比率（%）	38.9%	38.0%	0.9 P
1株当たり純資産	1,248円68銭	1,257円26銭	△8円58銭

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

資産の部は、設備投資に伴い有形固定資産が増加した一方、季節要因による売上債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べて26,043百万円減少し、841,421百万円となりました。

負債の部は、仕入債務の減少などにより、前連結会計年度末に比べて22,660百万円減少し、485,960百万円となりました。

純資産の部は、四半期純利益10,877百万円を計上する一方、配当金の支払い及び円高による為替換算調整勘定の減少などにより、前連結会計年度末に比べて3,383百万円減少し、355,461百万円となりました。その結果、自己資本比率は38.9%となり、前連結会計年度末に比べて0.9ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、為替の円安などにより当初計画を上回って推移しておりますので、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年12月期決算発表時（平成26年2月13日）の予想を下記のとおり変更しております。

第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

	今回修正予想	前回発表予想	増減	増減率	(ご参考) 前年同期実績
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売上高	380,000	370,000	10,000	2.7	345,886
タイヤ事業	329,000	319,000	10,000	3.1	297,787
スポーツ事業	34,000	34,000	—	—	32,731
産業品他事業	17,000	17,000	—	—	15,368
営業利益	35,000	32,000	3,000	9.4	29,729
タイヤ事業	30,500	27,500	3,000	10.9	26,329
スポーツ事業	3,000	3,000	—	—	2,345
産業品他事業	1,500	1,500	—	—	1,048
調整額	—	—	—	—	7
経常利益	32,500	29,500	3,000	10.2	27,716
四半期純利益	18,500	16,500	2,000	12.1	15,479

為替レートの前提

	今回修正予想	前回発表予想	増減	(ご参考) 前年同期実績
1米ドル当たり	101円	100円	1円	96円
1ユーロ当たり	138円	135円	3円	126円

通期（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

	今回修正予想	前回発表予想	増減	増減率	(ご参考) 前年同期実績
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売上高	840,000	830,000	10,000	1.2	780,609
タイヤ事業	735,000	725,000	10,000	1.4	681,100
スポーツ事業	67,000	67,000	—	—	66,260
産業品他事業	38,000	38,000	—	—	33,249
営業利益	83,000	80,000	3,000	3.8	77,055
タイヤ事業	74,500	71,500	3,000	4.2	69,850
スポーツ事業	4,500	4,500	—	—	3,992
産業品他事業	4,000	4,000	—	—	3,205
調整額	—	—	—	—	8
経常利益	78,000	75,000	3,000	4.0	74,582
当期純利益	47,000	45,000	2,000	4.4	44,794

為替レートの前提

	今回修正予想	前回発表予想	増減	(ご参考) 前年同期実績
1米ドル当たり	101円	100円	1円	98円
1ユーロ当たり	136円	135円	1円	130円

上記の予想は、発表日現在において当社及び当社グループが入手可能な情報から得られた判断にもとづいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業をとりまく様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において増資したことにより、Sumitomo Rubber AKO Lastik Sanayi ve Ticaret A.Ş. は特定子会社となりました。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,441	49,866
受取手形及び売掛金	198,189	172,203
商品及び製品	79,834	85,215
仕掛品	6,159	6,160
原材料及び貯蔵品	44,433	41,944
その他	38,372	30,226
貸倒引当金	△1,945	△1,900
流動資産合計	407,483	383,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	89,855	91,122
機械装置及び運搬具(純額)	132,242	128,770
その他(純額)	94,878	98,257
有形固定資産合計	316,975	318,149
無形固定資産		
のれん	8,827	8,374
その他	18,056	18,092
無形固定資産合計	26,883	26,466
投資その他の資産		
投資有価証券	69,589	67,043
その他	47,499	47,029
貸倒引当金	△965	△980
投資その他の資産合計	116,123	113,092
固定資産合計	459,981	457,707
資産合計	867,464	841,421
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	76,741	63,964
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
コマーシャル・ペーパー	11,000	12,000
短期借入金	78,719	74,486
1年内返済予定の長期借入金	37,339	33,143
未払法人税等	10,437	3,593
引当金	7,581	8,245
その他	71,369	63,354
流動負債合計	313,186	278,785
固定負債		
社債	45,000	45,000
長期借入金	104,588	116,734
退職給付引当金	13,959	14,076
その他の引当金	112	115
その他	31,775	31,250
固定負債合計	195,434	207,175
負債合計	508,620	485,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,658	42,658
資本剰余金	38,661	38,661
利益剰余金	224,681	228,915
自己株式	△551	△553
株主資本合計	305,449	309,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,521	11,231
繰延ヘッジ損益	164	△244
為替換算調整勘定	31,677	24,201
在外関係会社の年金債務調整額	△18,998	△17,306
その他の包括利益累計額合計	24,364	17,882
少数株主持分	29,031	27,898
純資産合計	358,844	355,461
負債純資産合計	867,464	841,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	163,861	190,710
売上原価	102,725	116,493
売上総利益	61,136	74,217
販売費及び一般管理費	46,172	55,739
営業利益	14,964	18,478
営業外収益		
受取利息	243	474
受取配当金	2	8
為替差益	255	-
持分法による投資利益	-	579
デリバティブ評価益	897	-
その他	463	699
営業外収益合計	1,860	1,760
営業外費用		
支払利息	1,197	1,173
為替差損	-	521
持分法による投資損失	740	-
その他	518	662
営業外費用合計	2,455	2,356
経常利益	14,369	17,882
特別利益		
固定資産売却益	537	-
特別利益合計	537	-
特別損失		
固定資産除売却損	175	162
減損損失	-	13
特別損失合計	175	175
税金等調整前四半期純利益	14,731	17,707
法人税等	4,747	6,041
少数株主損益調整前四半期純利益	9,984	11,666
少数株主利益	991	789
四半期純利益	8,993	10,877

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,984	11,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,792	△307
繰延ヘッジ損益	△139	△408
為替換算調整勘定	18,477	△7,096
在外関係会社の年金債務調整額	26	14
持分法適用会社に対する持分相当額	1,692	984
その他の包括利益合計	21,848	△6,813
四半期包括利益	31,832	4,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,963	4,395
少数株主に係る四半期包括利益	1,869	458

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	タイヤ	スポーツ	産業品他			
売上高						
外部顧客への売上高	142,110	14,062	7,689	163,861	—	163,861
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	60	15	78	△78	—
計	142,113	14,122	7,704	163,939	△78	163,861
セグメント利益	13,763	620	580	14,963	1	14,964

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	タイヤ	スポーツ	産業品他			
売上高						
外部顧客への売上高	165,873	15,617	9,220	190,710	—	190,710
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	94	3	100	△100	—
計	165,876	15,711	9,223	190,810	△100	190,710
セグメント利益	16,519	618	1,337	18,474	4	18,478

(注) 1. セグメント利益の調整額4百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。